



2018

復活第67回（通算87回）

H I 盃 選手権 試合 全三菱庭球大会

2018年10月26日・27日・28日

三菱UFJ銀行 武蔵野コート
三菱重工業 桜ヶ丘コート
日本郵船 飛田給コート
東京海上日動 多摩コート

三菱庭球同好会

2018年10月25日更新版

更新頁（表紙、P1、P2、P5、P12、P17）

赤字：2018年10月12日更新箇所

青字：2018年10月12日以降の選手変更等の更新箇所

三菱庭球同好会ホームページ開設と 紙での大会プログラム配布の取り止めについて

三菱庭球同好会は、本年5月にホームページ（HP）を開設し、本年度から大会プログラムはHPでの掲示により紙での配布を取り止めとしました。プリントアウトが必要な場合は、各自（各社）でご対応をお願いします。皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年2017年の大会は、3日間とも大雨で試合日程、会場が連日大幅に変更を余儀なくされました。事務局と各社幹事は、総動員で300名強の参加者、大会関係者へ日々メール、電話等で連絡しましたが、少なからず進行に混乱をきたしました。この戦訓から、HP活用により、タイムリーかつ正確に、だれでもどこからでも大会案内と進行がわかるようすることを第一の狙いとしました。副次的には、印刷取り止めによるプログラムの早期公表、幹事団の負荷低減、更には印刷費予算を今年はHP制作費に充当、来年以降は大会運営の強化に活用することが可能になりました。

第二の狙いは、H I 盃、三菱の庭球をより広く、より多くの人に知ってもらい、大会精神の Horizontal Integration—三菱各社、テニスプレーヤーの横の連携—に繋げることです。歴史については、過去に復活10周年、30周年、50周年（2001年）の記念行事として「三菱庭球の歩み」が上梓されてきましたが、部数の制約もあり会員全員には行きわたらず、かつ新しい世代にとっては本誌を目にする機会も減ってきました。そこでこの機会に、これら記念誌の「三菱の庭球」から諸先輩のテニスにかける情熱、偉大な足跡、貴重な記録などを改めて再整理し、広く公開することにしました。

今後HPがより多くの会員に活用いただき、より良いものを目指し改善を図って参ります。皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年がHPの開設元年です。雨でHPがフル活用されることの無いよう祈る一方で、是非ともHPをご高覧くださいませようお願い申し上げます。



「三菱庭球同好会」
で検索できます



三菱庭球同好会HP委員会
重工 牧村 祐一

目 次

H I 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項	2
諸注意事項	5
大会次第	6
H I 盃選手権試合組合せ、女子シングルストーナメント組合せ	7
男子ダブルストーナメント組合せ、女子ダブルストーナメント組合せ	8
140オダブルストーナメント組合せ	9
120オダブルストーナメント組合せ	10
東西対抗試合組合せ	11
コート時間割	12
大会会場・懇親会会場案内図	14
2017年度 第66回 優勝者	18
H I 盃選手権試合と全三菱庭球大会について	19
H I 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表	20

開会式へ参加のお願い

第3日(10/28)出場予定の選手は、8:30から開会式を行いますので、必ずご参集ください。

本大会3日目のセキュリティ対策について

近年、各社VIPのご来場も増加していること、また大会に無関係な方の入場を防止する目的で、本年度より受付での来場者特定と目印配布をすることにいたしました。

- (1) 各社の来場者には受付にて目印(ネクストラップ)を配布し、会場滞在中に着用いただきます。(リボンを着用される方は除く)
- (2) 当日、なるべく円滑に受付ができるよう、各社には事前に把握できる範囲で来場者を申請いただいております。事前申請済みの来場者以外の方は、当日、お名前(フルネーム)および会社名をご記入いただき、目印を配布いたします。
- (3) あわせて、銀行武蔵野グラウンドへの入り口を一箇所(バス停留所付近)に統一し、正門(北側)はVIPを中心とした車の来場用のみとして利用します。

H I 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社 (株)三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行(株)
三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)

1. 大会日程

日 程	種 目 等	会 場	集合時間等
第 1 日 10月26日 (金)	[140才・120才ダブルス] ブロック別リーグ戦	重工 桜ヶ丘コート 郵船 飛田給コート	試合開始30分前
第 2 日 10月27日 (土)	[H I 盃] 1回戦 [男子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [女子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [140才・120才ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・準々決勝	海上 多摩コート 重工 桜ヶ丘コート	試合開始30分前
	[女子シングルス] 1回戦	郵船 飛田給コート	
第 3 日 10月28日 (日)	開会式	銀行 武蔵野コート	8:30からの開会式 に必ずご参加ください *試合受付は開始 30分前までにお 願います
	[H I 盃・女子シングルス] 準決勝・決勝 [男子ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・準決勝・決勝 [女子ダブルス] 決勝トーナメント準決勝・決勝 [140才・120才ダブルス] 準決勝・決勝 [東西対抗試合・特別試合]		
	懇親会	吉祥寺第一ホテル	17:30開始

コート割、開始時間、会場案内はP12~P17をご参照下さい。

2. 役 員

委員 長： 三菱庭球同好会会長 大 宮 英 明 (三 菱 重 工 業)

副 委 員 長： 三 毛 兼 承 (三 菱 U F J 銀 行) 池 谷 幹 男 (三 菱 U F J 信 託 銀 行)

同好会相談役： 岸 暁 (三 菱 U F J 銀 行) 畔 柳 信 雄 (三 菱 U F J 銀 行)
井 手 明 彦 (三 菱 マ テ リ ア ル)

審 判 長： 武 田 彰 (三 菱 商 事)

副 審 判 長： 牧 村 祐 一 (三 菱 重 工 業)

H I 盃 委 員： 磯 田 卓 (東 京 海 上 日 動) 広 瀬 正 典 (三 菱 ケ ミ カ ル)
野 村 利 明 (三 菱 自 動 車 工 業) 橋 本 達 哉 (三 菱 重 工 業)
田 村 太 郎 (三 菱 商 事) 松 岡 信 幸 (三 菱 電 機)
乙 川 勝 幸 (三 菱 マ テ リ ア ル) 沼 聡 (三 菱 U F J 銀 行)
井 手 信 彦 (明 治 安 田 生 命)

H I 盃 地 区 委 員： [関 東] 佐 藤 慶 (三 菱 商 事) [中 京] 垂 水 健 康 (三 菱 重 工 業)
[関 西] 田 中 頭 一 郎 (三 菱 電 機) [九 州] 横 濱 克 彦 (三 菱 重 工 業)

3. 参 加 会 社

AGC(株)	キリンホールディングス(株)	JXTGホールディングス(株)	東京海上日動火災保険(株)
(株)ニコン	日本郵船(株)	(株)ピーエス三菱	三菱アルミニウム(株)
三菱化工機(株)	三菱ガス化学(株)	三菱ケミカル(株)	(株)三菱ケミカルホールディングス
三菱地所(株)	三菱自動車工業(株)	三菱重工業(株)	三菱商事(株)
三菱伸銅(株)	三菱製鋼(株)	三菱製紙(株)	三菱倉庫(株)
(株)三菱総合研究所	三菱電機(株)	三菱電線工業(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)
三菱マテリアル(株)	(株)三菱UFJ銀行	三菱UFJ証券ホールディングス(株)	三菱UFJ信託銀行(株)
明治安田生命保険(相)			(50音順)

4. 試 合 方 法

[使用ボール：ダンロップフォート]

種 目	資 格 等	試 合 方 式
(1)HI盃 (男子シングルストーナメント)	前年優勝者、 地区代表(関東3、関西2、中京1、九州1)	ベストオブ3タイプレクセットマッチ
(2)女子シングルス トーナメント	前年優勝者、 地区代表(関東5、中京1、九州1)	同 上
(3)男子ダブルス	前年優勝者、 地区代表(関東8、関西9、中京4、九州2)	予選・1回戦・準決勝 8ゲームスブレットマッチ 決勝 2タイプレクセット10ホイントマッチタイプレク方式
(4)女子ダブルス	地区代表(関東5、関西1、中京2) ※前年度は雨天中止のため、前年優勝者 枠の選出はなし	予選 8ゲームスブレットマッチ 準決勝・決勝 2タイプレクセット10ホイントマッチタイプレク方式
(5)140才ダブルス	本年、男子満68才・女子満58才以上で 合計140才(※女子1人につき10才減ず る)以上のペアによるブロック別リーグ 戦予選、決勝トーナメント	1タイプレクセットマッチ ※予選に限りセミアドバンテージ方式
(6)120才ダブルス	本年、男子満58才・女子満48才以上で 合計120才(※女子1人につき10才減ず る)以上のペアによるブロック別リーグ 戦予選、決勝トーナメント	同 上
(7)東西対抗試合	東軍(関東以东)・西軍(中京以西) 男子各20組、女子各3組による対抗戦	2タイプレクセット10ホイントマッチタイプレク方式
(8)特別試合	HI盃選手権出場選手によるダブルス および女子シングルス出場選手による ダブルス	2タイプレクセットマッチ

[懇親試合] ベストオブ1タイプレクセットマッチ

男子ダブルス予選敗者、140才、120才ダブルスの10月27日までの敗者、その他ご希望の方は、懇親試合に参加できますので、10月27日に各コートの大会運営本部まで申し出てください。但し、コート事情によりご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください。

5. ダブルスブロック内順位決定方法

[男子ダブルス]

- ① 各ブロック上位1組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例：A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

[女子ダブルス]

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0（不戦敗は0-8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例：A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

[120オダブルス]

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は6-0（不戦敗は0-6）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例：A対Bの試合で、Aから3-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが7-5で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

[140オダブルス]

- ① 各ブロック上位1組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は6-0（不戦敗は0-6）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例：A対Bの試合で、Aから3-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが7-5で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

諸 注 意 事 項

1. コートへのアクセス、宿舎等

- (1) 各コートへの交通手段と連絡先は、**P14～P17**をご参照ください。
- (2) 第1日・2日は専用バスを運行いたしませんので、各自お越してください。
- (3) 第3日（銀行コート）は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
- (4) **マイカーでの来場は厳禁です。**
- (5) 会場への交通・宿舎などについては、各自にてお手配ください。

2. 更 衣 室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用できませんので、お荷物は各自で管理してください。

3. 試 合 進 行

- (1) 試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますので、予め試合進行掲示板にてご確認ください。**近隣対策上、試合前の選手呼び出し（場内アナウンス）はいたしません**のでご注意ください。なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。
- (2) **練習時間は、試合進行上、H I 盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守ください。**

4. 審 判

- (1) H I 盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140オダブルス、120オダブルスの決勝は、ソロ・チェア・アンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
- (2) 試合結果は、勝者がスコアカードに記入の上、使用ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

5. 昼 食

- (1) **全日とも昼食の準備はありませんので、各自にてお手配ください。**
- (2) ジュース等の空きカン・ペットボトル・ゴミは、所定の場所にお捨ててください。

6. D E F

- (1) 所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
- (2) やむを得ずDEFの場合は、速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

7. 参 加 費

140オダブルス、120オダブルス参加者は、関東地区5,000円、関東以外3,000円、その他関東地区の参加者は4,000円、関東以外は1,000円を各社で取りまとめてください。後日徴収いたします。

8. 雨 天 時 の 対 応

- (1) 最新情報は、同好会ホームページに掲載いたしますので、原則、各社（各自）単位でご確認ください。
- (2) 各日とも、開始時間の1時間前から各コートに大会幹事がおりますので各社連絡員から問合せください。選手から各社連絡員に連絡がつかない場合は、直接コートに問合せいただいても結構です。
- (3) 10月28日（日）が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ時間を早めて16:00から開催します。吉祥寺第一ホテル（TEL 0422-21-4411）にご集合ください。

大会次第 10月28日(日)

1. 開 会 式 (三菱UFJ銀行 武蔵野コート) (8 : 3 0)
 - (1) 集 合
 - (2) 挨 拶 大宮大会委員長
 - (3) 優勝盃・優勝旗返還 大宮大会委員長
 - (4) 諸 注 意 武田審判長

2. 試合開始 (コート時間割をご参照) (9 : 0 0)

3. 試合終了 (16 : 0 0)

4. 閉会式及び懇親会 (吉祥寺第一ホテル 8階天平の間) (17 : 3 0)
 - (1) 開 会 挨 拶 池谷大会副委員長
 - (2) 乾 杯 畔柳日本テニス協会会長 (同好会相談役)
 - (3) 優勝盃・優勝旗・賞品授与および優勝者挨拶
 - ① HI 盃優勝者
 - ② 女子シングルス優勝者
 - ③ 男子ダブルス優勝者
 - ④ 女子ダブルス優勝者
 - ⑤ 140オダブルス優勝者
 - ⑥ 120オダブルスの優勝・準優勝者
 - ⑦ 東西対抗試合勝者
 - (4) 閉 会 の 辞 三毛大会副委員長
 - (5) 万 才 三 唱 牧村副審判長

5. 閉 会 (解 散) (19 : 0 0)

6. 記 念 撮 影
懇親会終了後、HI 盃、女子シングルスの出場者、男子ダブルス、女子ダブルス、140オダブルス、120オダブルスの優勝・準優勝者、東西対抗試合主将および大会役員は記念撮影を行ないます。

最高年齢賞の取止めについて

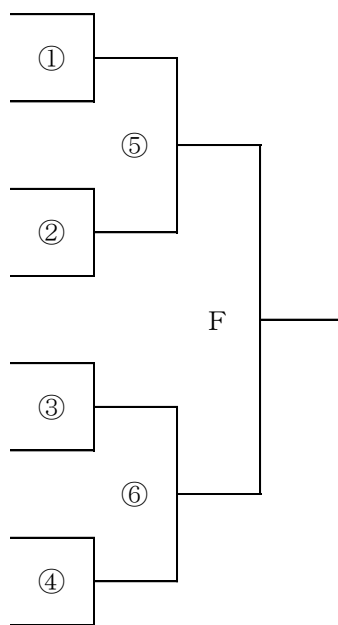
最高年齢出場者の表彰につきましては、本年度から取止めとすることにいたしました。

- (1) 最高年齢賞の正確な始まりは不詳ですが、復活大会に100オトーナメントがスタートし、経過とともに長老を称える趣旨で創設されたのではないかと推察されます。
- (2) しかしながらここ数年、該当される方が辞退される傾向にあり、表彰者の選出に少なからず混乱きたす傾向が生じております。
- (3) かかる状況を踏まえ、本大会での表彰対象者は、HI盃創設時(復活大会前)の原点に立ち返り、競技種目の勝者のみとすることにいたしました。

H I 盃選手権試合 (男子シングルス)

1. 田川翔太 (関東・海上)
2. 巽寛人 (関東・マテリアル)
3. 西改拓人 (関西・麒麟)
4. 岩崎歩 (関東・生命)
5. 古田陸人 (中京・マテリアル)
6. 吉田唯将 (九州・重工)
7. 澁田大樹 (関東・生命)
8. 西優馬 (関西・マテリアル)

1 準 決
回 決 勝
戦 勝 勝

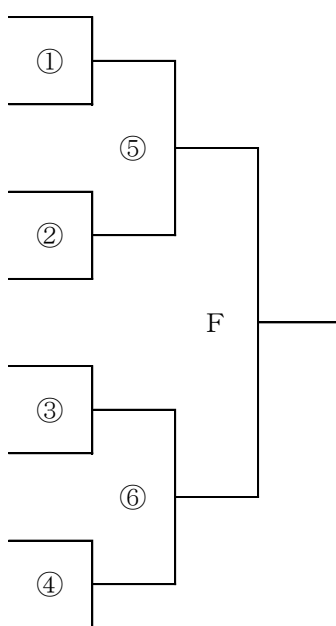


1911年創設
岩崎彦彌太氏寄贈

女子シングルス

1. 泉水玖瑠美 (関東・生命)
2. 橘梨子 (関東・生命)
3. 後藤奏子 (関東・生命)
4. 宮地真知香 (九州・銀行)
5. 高松奈央 (中京・銀行)
6. 金子真理子 (関東・生命)
7. 田中文彩 (関東・生命)
8. 辻本佳恵 (関東・銀行)

1 準 決
回 決 勝
戦 勝 勝



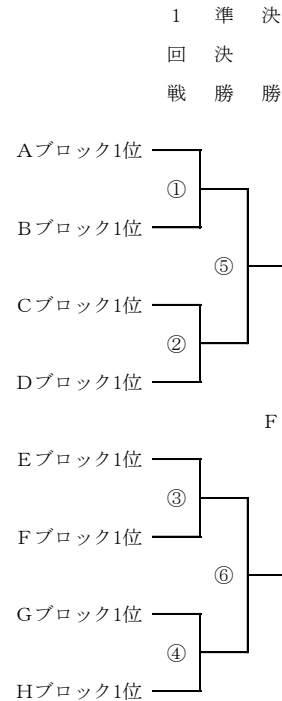
2014年創設
岩崎美智子氏寄贈
(寛彌氏ご令室)

男子ダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	高山・野田 (関東・生命)
	2	鈴木・目黒 (関東・マテリアル)
	3	市川・大池 (関西・ガス化学)
Bブロック	1	岡田・笠松 (関東・電機)
	2	大出・水野 (中京・電機)
	3	木下・島 (関西・重工)
Cブロック	1	阿部・田所 (関東・銀行)
	2	上本・井上 (関東・海上)
	3	佐藤・長島 (関東・商事、AGC)
Dブロック	1	岩田・荒木 (関西・電機)
	2	瀧沢・田中 (関西・電機)
	3	干場・尾形 (関東・生命)
Eブロック	1	塚原・泉保 (中京・銀行)
	2	森川・山根 (関西・電機)
	3	森永・小川 (関西・重工)
Fブロック	1	大塚・上村 (関東・生命)
	2	郷古・田島 (九州・重工)
	3	有本・深沢 (関西・電機)
Gブロック	1	河村・西村 (九州・重工)
	2	平田・寺田 (中京・重工)
	3	南・池田 (中京・自動車)
Hブロック	1	川田・堤 (関西・ケミカル)
	2	本倉・丹波谷 (関西・電機)
	3	峰・宇藤 (関東・重工)

決勝トーナメント



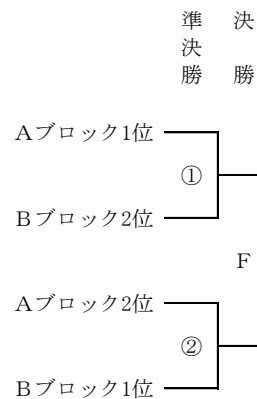
2006年創設
三菱庭球同好会

女子ダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	山田・春山 (中京・銀行)
	2	玉城・牧野 (中京・郵船、電機)
	3	藤井・松田 (関東・生命)
	4	本郷・森 (関東・生命)
Bブロック	1	早野・清水 (関東・海上)
	2	柏木・西 (関東・銀行)
	3	大石・有田 (関東・海上)
	4	香山・吉場 (関西・電機)

決勝トーナメント



1972年創設
岩崎操子氏寄贈
(彦彌太氏令室)

140オダブルス

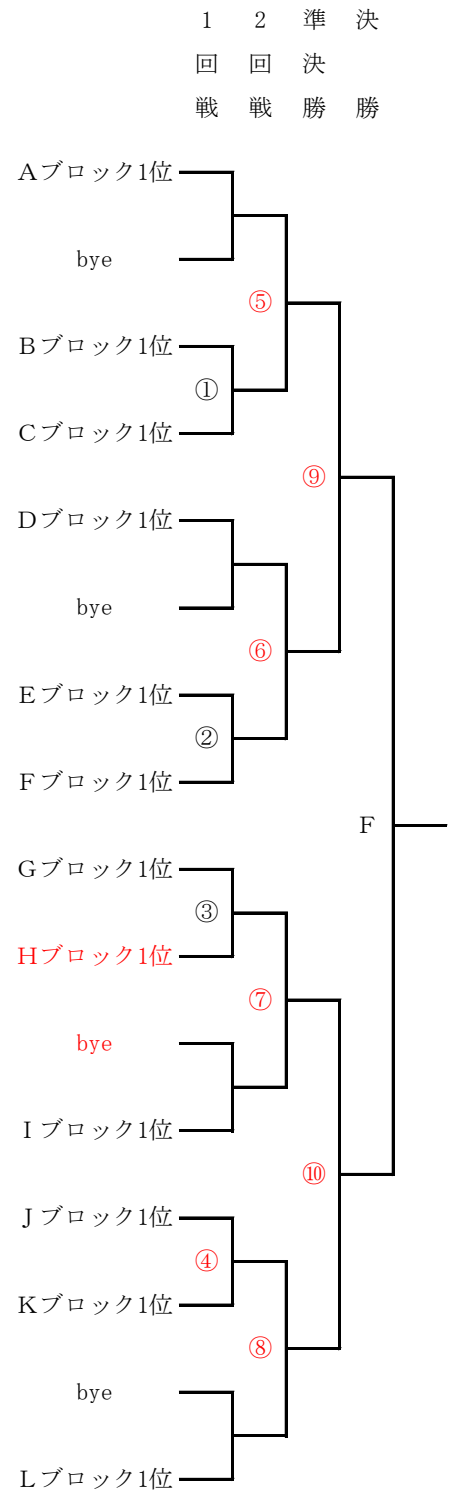
ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	岩田・近藤	(ケミカル)
	2	藤本・田村	(商事)
	3	草場・羽倉	(銀行)
Bブロック	1	早乙女・服部	(重工)
	2	小松・国房	(商事)
	3	鳥居・中川	(ケミカル)
Cブロック	1	瀧口・片寄	(ケミカル・電機)
	2	花生・盛	(商事)
	3	宗・横山	(AGC・重工)
Dブロック	1	君塚・海老名	(海上)
	2	田部・宇川	(ケミカル)
	3	大日方・鬼頭	(銀行)
Eブロック	1	神森・新堂	(AGC)
	2	柿原・鈴木	(海上)
	3	茅本・北田	(ケミカル)
Fブロック	1	山川・福井	(商事)
	2	桑田・吉野	(信託)
	3	下永・大原	(自動車)
Gブロック	1	永田・比原	(重工)
	2	飯野・有馬	(商事)
	3	大岸・長張	(ケミカル)
Hブロック	1	毎野・武田	(商事)
	2	浦田・山本	(銀行)
	3	三浦・村瀬	(ケミカル)
Iブロック	1	金子・上井	(AGC)
	2	東・前田	(重工・ケミカル)
	3	米田・神谷	(マテリアル)
Jブロック	1	鈴木・石井	(生命・海上)
	2	山辺・井上	(AGC)
	3	五十嵐・高橋	(重工)
Kブロック	1	田畑・吉田	(重工・ふそう)
	2	森山・五十嵐	(AGC)
	3	金子・平岡	(マテリアル)
Lブロック	1	江口・服部	(ケミカル)
	2	西・村山	(商事)
	3	武藤・佐々木	(重工)



1983年創設
岩崎寛彌氏寄贈
(彦彌太氏令息)

決勝トーナメント



120オダブルス



1952年創設
岩崎彦彌太氏寄贈

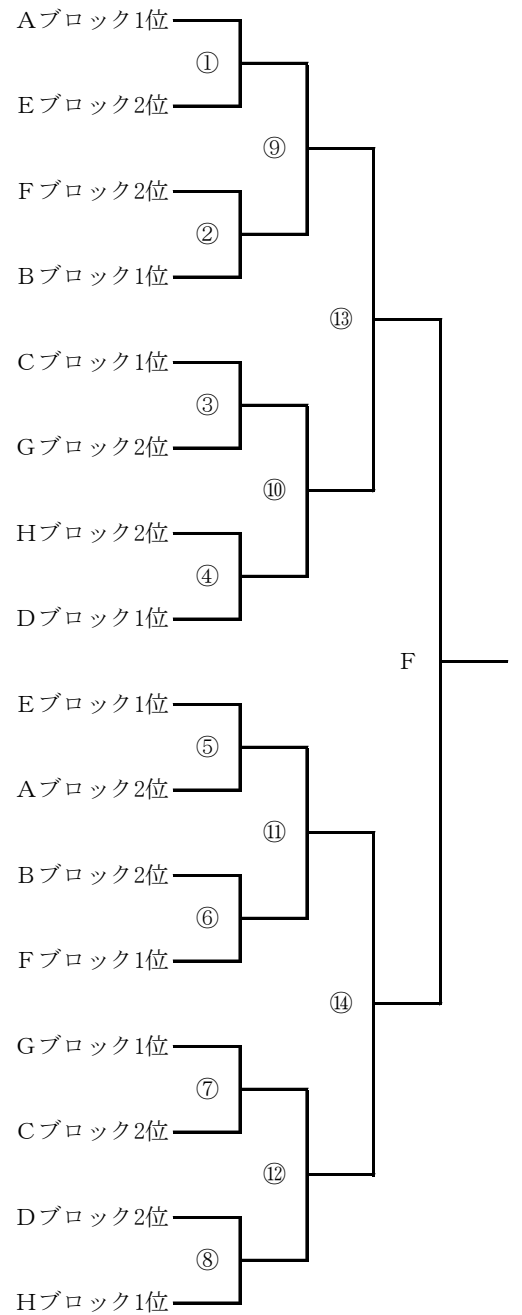
ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	牧村・阿部	(重工・海上)
	2	安川・唐澤	(商事)
	3	福寺・箱崎	(信託)
	4	竹下・小林	(ケミカル)
Bブロック	1	藤井・岡部	(電機)
	2	織田・保坂	(商事)
	3	田中・阿仁	(重工・海上)
	4	大塩・松山	(銀行)
Cブロック	1	佐藤・東城	(海上)
	2	田辺・種田	(JX)
	3	勇内・中山	(電機)
Dブロック	1	横井・多田	(自動車)
	2	加納・本間	(AGC)
	3	田中・久保	(マテリアル)
Eブロック	1	宮川・伊藤	(重工)
	2	村松・石井	(信託・海上)
	3	茂木・渡邊	(銀行・商事)
Fブロック	1	中村・小林	(電機)
	2	矢野・片岡	(ケミカル)
	3	小宮・山岸	(商事)
Gブロック	1	加藤・直木	(電機)
	2	今西・柏木	(商事)
	3	黒崎・笠原	(銀行)
Hブロック	1	岩渕・乙川	(マテリアル)
	2	永桶・岡本	(商事)
	3	西岡・遠藤	(海上)

※ 下線は女子

決勝トーナメント

1 2 準 決
回 回 決 勝
戦 戦 勝 勝



東西対抗試合

<男子ダブルス>

	東 軍		西 軍
1.	高柳 (海上)	—	南 (銀行)
	平尾 (海上)		橋本 (銀行)
2.	星村 (生命)	—	小川 (重工)
	田元 (生命)		萩原 (重工)
3.	相川 (商事)	—	今井 (重工)
	豊城 (商事)		神田 (重工)
4.	五島 (商事)	—	福田 (重工)
	湯浅 (商事)		福間野 (重工)
5.	高橋 (久) (生命)	—	古村 (商事)
	高橋 (宏) (生命)		斎藤 (商事)
6.	前田 (地所)	—	廣田 (重工)
	田中 (地所)		衛藤 (重工)
7.	平野 (地所)	—	鍵田 (電機)
	紙尾 (地所)		高山 (電機)
8.	日比野 (JX)	—	関水 (銀行)
	山地 (JX)		高橋 (銀行)
9.	高野 (生命)	—	岡田 (電機)
	井手 (生命)		白村 (電機)
10.	山岸 (銀行)	—	藤堂 (マテリアル)
	井上 (銀行)		山田 (マテリアル)
11.	佐々 (銀行)	—	藤井 (重工)
	沼 (銀行)		林 (重工)
12.	佐久間 (商事)	—	大谷 (ケミカル)
	田村 (商事)		川俣 (ケミカル)
13.	白井 (証券)	—	八木田 (重工)
	川上 (証券)		松岡 (重工)
14.	下田 (信託)	—	泉水 (ケミカル)
	三嶋 (信託)		河野 (ケミカル)
15.	榎本 (銀行)	—	岩川 (商事)
	芳田 (銀行)		安徳 (自動車)
16.	木村 (電機)	—	碓 (重工)
	遠藤 (電機)		中川 (重工)
17.	佐藤 (化工機)	—	坂井 (電機)
	菅原 (化工機)		仲野 (電機)
18.	野村 (自動車)	—	難波 (重工)
	山崎 (自動車)		平 (重工)



1952年創設
三菱庭球同好会

<男子ダブルス>

	東 軍		西 軍
19.	橋本 (重工)	—	伊藤 (ケミカル)
	佐藤 (重工)		夏目 (ケミカル)
20.	広瀬 (ケミカル)	—	小山 (電機)
	桑田 (ケミカル)		西川 (電機)

<女子ダブルス>

	東 軍		西 軍
1.	関 (銀行)	—	吉田 (重工)
	前原 (銀行)		野村 (重工)
2.	北村 (商事)	—	松田 (銀行)
	粉川 (銀行)		市橋 (銀行)
3.	北浦 (信託)	—	長谷川 (銀行)
	小松 (信託)		白井 (銀行)

<特別試合>

男子ダブルス

{		—	{
---	--	---	---

女子ダブルス

{		—	{
---	--	---	---

第1日 (10月26日) コート時間割

		重 工 コ ー ト			
コートNo.	時間	1	2	3	4
9:30		120オラウンドロビン (A, B, C, D, E, F, G, H)			
		120才 (ブロックリーグ)			
10:10		A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4
		120才 (ブロックリーグ)			
10:50		C1-C2	D1-D2	E1-E2	F1-F2
		120才 (ブロックリーグ)			
11:30		G1-G2	H1-H2	A1-A3	A2-A4
		120才 (ブロックリーグ)			
12:10		B1-B3	B2-B4	C1-C3	D1-D3
		120才 (ブロックリーグ)			
FB		E1-E3	F1-F3	G1-G3	H1-H3
		120才 (ブロックリーグ)			
FB		A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3
		120才 (ブロックリーグ)			
FB		C2-C3	D2-D3	E2-E3	F2-F3
		120才 (ブロックリーグ)			
		G2-G3	H2-H3		
		120才 (ブロックリーグ)			

「A1-A2」はAブロック1-2の対戦を示します。

		郵 船 コ ー ト				
コートNo.	時間	1	2	3	4	5
9:30		140オラウンドロビン (A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L)				
		140才 (ブロックリーグ)				
10:10		A1-A2	B1-B2	C1-C2	D1-D2	E1-E2
		140才 (ブロックリーグ)				
10:50		F1-F2	G1-G2	H1-H2	I1-I2	J1-J2
		140才 (ブロックリーグ)				
11:30		K1-K2	L1-L2	A1-A3	B1-B3	C1-C3
		140才 (ブロックリーグ)				
12:10		D1-D3	E1-E3	F1-F3	G1-G3	H1-H3
		140才 (ブロックリーグ)				
12:50		I1-I3	J1-J3	K1-K3	L1-L3	A2-A3
		140才 (ブロックリーグ)				
FB		B2-B3	C2-C3	D2-D3	E2-E3	F2-F3
		140才 (ブロックリーグ)				
FB		G2-G3	H2-H3	I2-I3	J2-J3	K2-K3
		140才 (ブロックリーグ)				
		L2-L3				
		140才 (ブロックリーグ)				

「A1-A2」はAブロック1-2の対戦を示します。

第2日 (10月27日) コート時間割 (Contingency Plan)

		海 上 コ ー ト				重 工 コ ー ト				郵船コート				
コートNo.	時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	1	2	
9:00		140才 (1回戦)				男子ダブルス (ブロックリーグ)	C1-C2	120才 (1回戦)				/		
		①	②	③	④			①	②	③	④			
9:45		140才 (2回戦)				男子ダブルス (ブロックリーグ)	C1-C3	120才 (1回戦)				/		
		⑤	⑥	⑦	⑧			⑤	⑥	⑦	⑧			
10:30		140才 (2回戦)				男子ダブルス (ブロックリーグ)	C2-C3	120才 (2回戦)				/		
		⑨	⑩	⑪	⑫			⑨	⑩	⑪	⑫			
11:15		女子ダブルス (ブロックリーグ)				男子ダブルス (ブロックリーグ)		/						
		A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4	D1-D2	G1-G2							
12:00		女子ダブルス (ブロックリーグ)				男子ダブルス (ブロックリーグ)		男子ダブルス (ブロックリーグ)				女子シングルス (1回戦)		
		A1-A3	A2-A4	B1-B3	B2-B4	D1-D3	G1-G3	A1-A2	E1-E2	F1-F2	H1-H2	①	②	
12:45		女子ダブルス (ブロックリーグ)				男子ダブルス (ブロックリーグ)		男子ダブルス (ブロックリーグ)				①		②
		A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3	D2-D3	G2-G3	A1-A3	E1-E3	F1-F3	H1-H3			
13:30		H I 盃 (1回戦)				男子ダブルス (ブロックリーグ)	B1-B2	男子ダブルス (ブロックリーグ)				女子シングルス (1回戦)		
		①	②	③	④			A2-A3	E2-E3	F2-F3	H2-H3			
14:15		H I 盃 (1回戦)				男子ダブルス (ブロックリーグ)	B1-B3	/				③		④
15:00		H I 盃 (1回戦)				男子ダブルス (ブロックリーグ)	B2-B3	/				④		

「A1-A2」はAブロック1-2の対戦を示します。

第3日（10月28日）コート時間割

銀 行 コ ー ト											
コートNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
時間	開会式（必ずご参加ください）										
8:30	開会式（必ずご参加ください）										
9:00	HI 盃 (準決勝)		女子シングルス (準決勝)		男子ダブルス (1回戦)				東西対抗 男子ダブルス		
:30					① ② ③ ④				1 9 11		
10:00	⑤ ⑥		⑤ ⑥		女子ダブルス (準決勝)		140オダブルス (準決勝)		東西対抗 男子ダブルス		
:30							⑨ ⑩		2 13 16		
11:00	男子ダブルス (準決勝)		東西対抗 男子ダブルス		① ②		120オダブルス (準決勝)		東西対抗 男子ダブルス		
:30	⑤ ⑥		3 4				⑬ ⑭		5 6 7		
12:00	東西対抗 女子ダブルス				東西対抗 男子ダブルス						
:30					1 2 3 8 10 14 15						
13:00	HI 盃 (決勝)		140オダブルス (決勝)		120オダブルス (決勝)		特別試合				
:30			女子ダブルス (決勝)		男子ダブルス (決勝)		東西対抗 男子ダブルス				
14:00	HI 盃 (決勝)		女子シングルス (決勝)		女子ダブルス (決勝)		男子ダブルス		12 17 18 19 20		
:30							男子ダブルス (決勝)				
15:00	懇 親 試 合										
:30	懇 親 試 合										
16:00	○注意事項										
:30	1. 出場選手は、必ず開会式にご参加ください。 ただし、東西対抗出場選手等で、当日移動の方は除きます。										
17:00	2. 練習時間は、試合進行上、HI 盃および女子シングルスは5分以内、 その他は3分以内といたしますので厳守ください。										
:30	3. 進行は、本部横に掲示いたしますので、各自前広にご確認ください。										
18:00	4. 大会役員の方は、11:30より銀行コートのクラブハウス2階にて 昼食会を行います。HI 盃および女子シングルス出場選手は、 選手紹介を行いますのでご参集ください。										
:30	5. 懇親試合をご希望の方は、大会本部までお申し出ください。										
19:00	懇 親 会 (於 吉祥寺第一ホテル)										

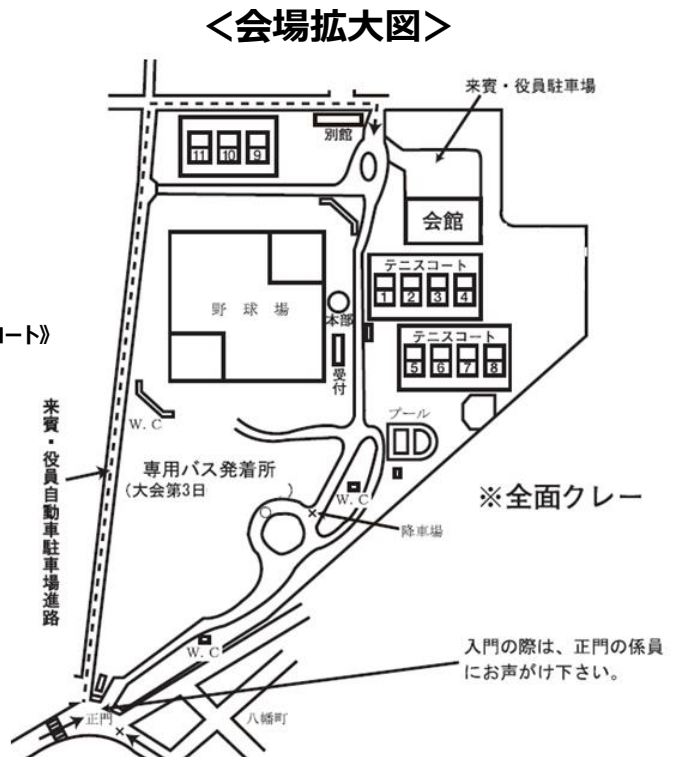
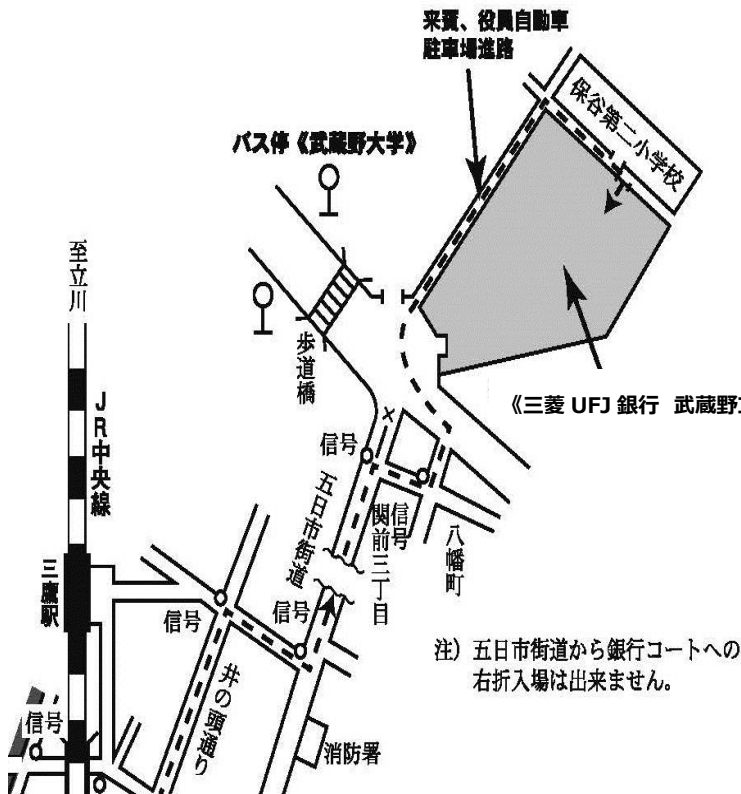
大会会場案内図（１）

《三菱UFJ銀行 武蔵野コート》

東京都西東京市柳沢 4-4-40
TEL : 0424-61-0770

マイカーでのご来場は厳禁です

- ・銀行コート駐車場の使用は、各社役員、来賓、大会役員の車に限定します。
- ・当局からの強い指導により周辺道路への違法駐車等は厳に慎んで下さい。



● 10月28日（日）銀行コートとのアクセス

- (1) 第2日(10/27)は専用バスの配車はいたしませんので、各自お越してください。
- (2) 第3日(10/28)は専用バスを運行しますので、ご利用ください。

※ 三鷹駅北口のバス乗り場に関し、昨年と異なってますので下記地図をご確認ください。

＜三鷹駅⇒銀行コート⇒懇親会場間の連絡バス＞

発車		到着		備考
7:40	三鷹駅	7:50	銀行コート	
7:50	三鷹駅	8:00	銀行コート	
8:10	三鷹駅	8:20	銀行コート	
16:00	銀行コート	16:20	吉祥寺第一ホテル	
16:30	銀行コート	16:50	吉祥寺第一ホテル	
17:00	銀行コート	17:20	吉祥寺第一ホテル	



大会会場案内図（2）

《 三菱重工 桜ヶ丘コート 》 **駐車場がありませんのでお車での来場はできません。**

- ◆ 住所：東京都大田区田園調布本町 39 番 15 三菱重工業(株)桜ヶ丘コート(電話なし)
- ◆ 施設：オムニコートx4面、クラブハウス(男女各シャワー室、更衣室)
- ◆ 交通
東京駅－(JR 京浜東北線 25 分)→蒲田駅－(東急多摩川線 10 分)→沼部駅
横浜駅－(JR 京浜東北線 25 分)→蒲田駅－(東急多摩川線 10 分)→沼部駅
新横浜駅－(JR 横浜線 2 分)→菊名駅－(東急東横線 17 分)→多摩川駅－(東急多摩川線 2 分)
→沼部駅
※沼部駅から桜ヶ丘コートまで徒歩 5 分、多摩川駅から桜ヶ丘コートまで徒歩 10 分

沼部駅からコートまでの行き方

- ・東急「沼部駅」下車(蒲田方面行は後方改札口、多摩川方面行は前方改札口)から「くすりのセイジョウ」の前を東光寺の方に向かい、東光寺を越えた角を左へ。
- ・道なりに坂を上って右に折れるとコートが見えます。
- ・コート横を過ぎるとクラブハウスが見えてきますので左に曲がるとクラブハウス入口があります。

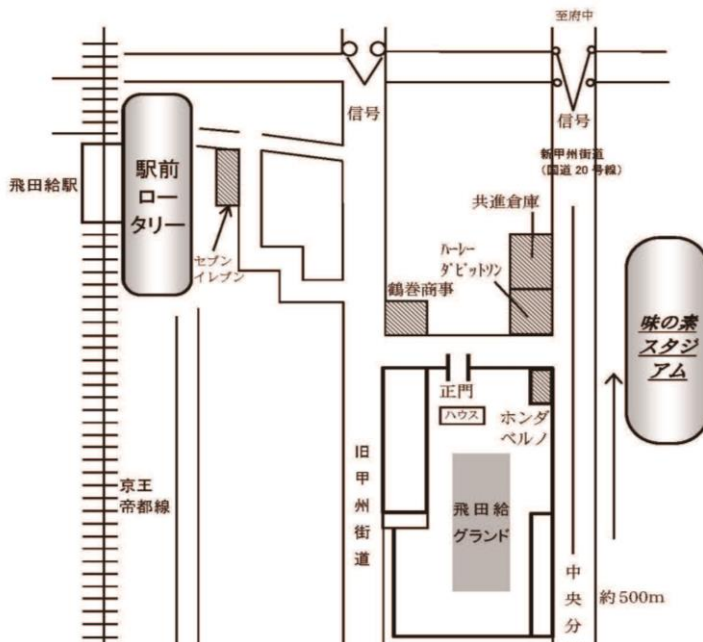


大会会場案内図（3）

《日本郵船 飛田給コート》

東京都調布市飛田給 1-54-1
 （京王線「飛田給駅」下車 徒歩約5分）
 TEL：0424-82-3152

マイカーでのご来場は厳禁です



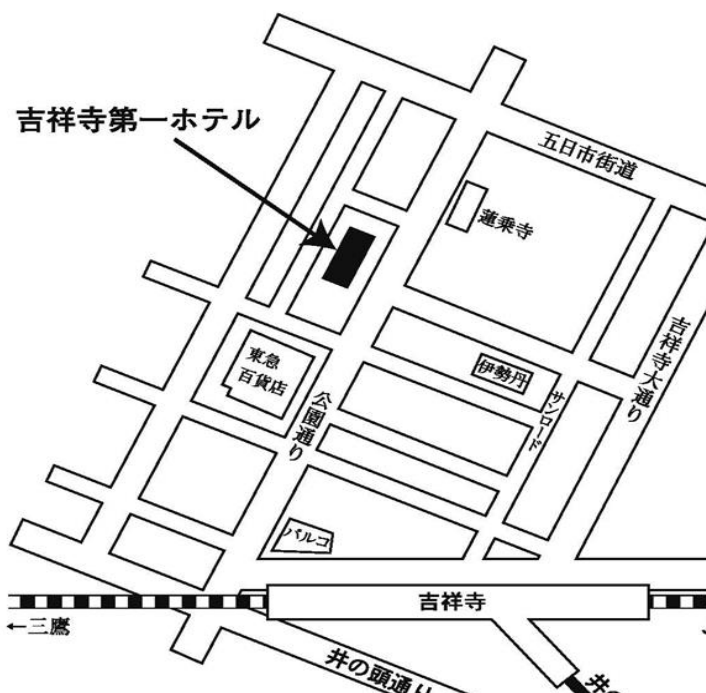
《懇親会会場 案内図》

吉祥寺第一ホテル 天平の間

東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-4-14
 （JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 徒歩約5分）
 TEL：0422-21-4411

駐車場は、大会役員および来賓のみ
 利用可能です。

1階玄関前は大変混雑いたしますので、
 懇親会閉会後は速やかなご移動を
 お願いいたします。



大会会場案内図 (4)

マイカーでの来場は厳禁です

- ・多摩コート駐車場の使用は、各社役員、来賓、大会役員の車に限定します。
- ・当局からの強い指導により周辺道路への違法駐車等は厳に慎んで下さい。

《東京海上日動 多摩総合グランド》

【住所・連絡先】

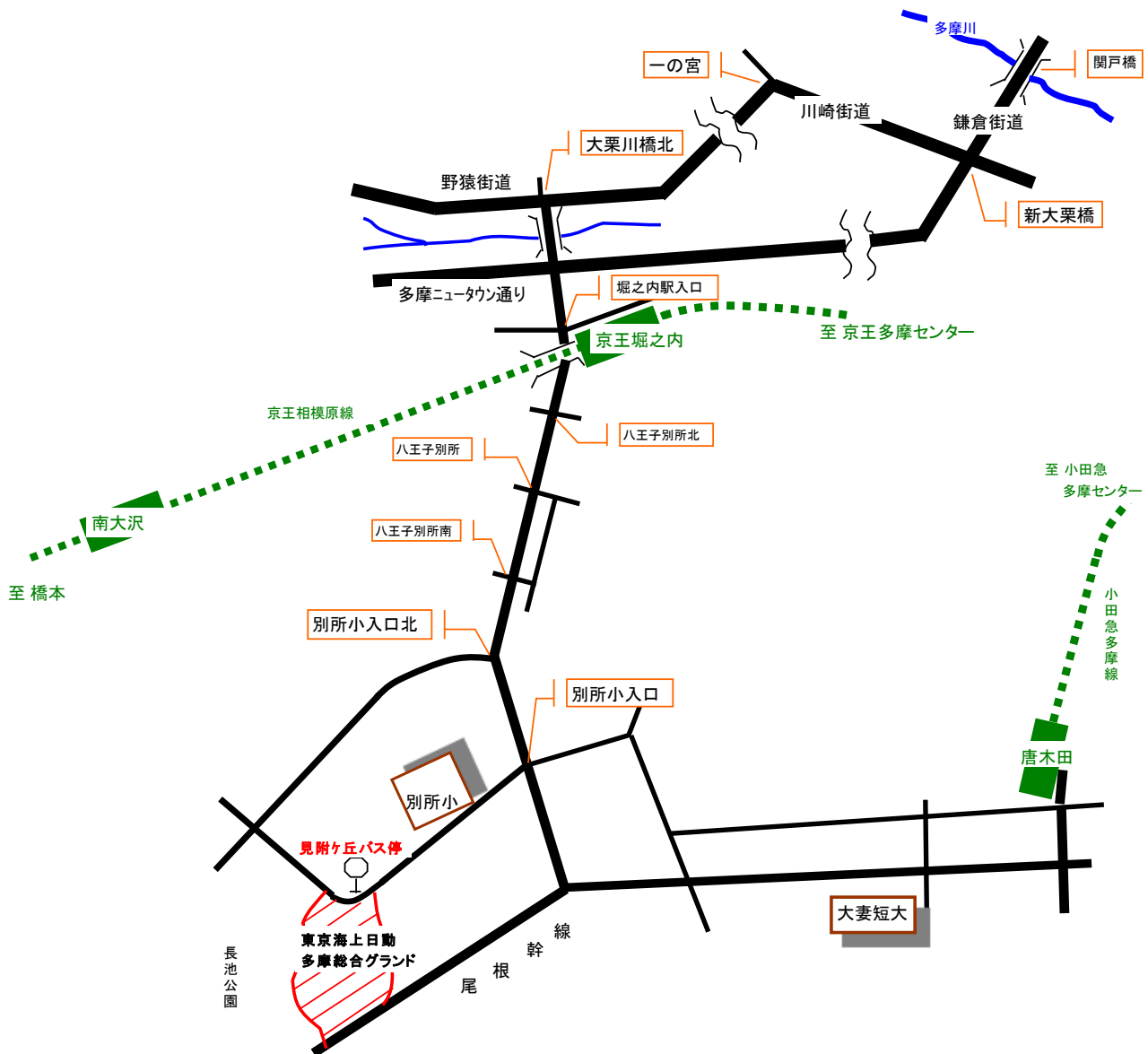
〒192-0363 東京都八王子市別所 2-5-7 (管理人：落合 安幸 様)

TEL : 0426-77-8619 FAX : 0426-77-8620

【交通機関】

- ① 路線バス 京王相模原線「京王堀之内」駅より約5分
(「見附橋循環」のりば④にて「見附ヶ丘」下車)
- ② タクシー 京王相模原線「京王堀之内」「南大沢」駅 } ⇒いずれも初乗り程度
小田急多摩線「唐木田」駅 }
京王・小田急「多摩センター」駅 ⇒1,500円程度

東京海上日動多摩総合グランド案内図



2017年度 第66回 優勝者

< >内はプレゼンター



H I 盃 田川翔太選手（海上）
<北沢社長（海上）>



女子シングルス 松本千広選手（生命）
<根岸社長（生命）>



男子ダブルス 高山・野田ペア（生命）
<島村社長（AGC）>

女子ダブルス、140 オトーナメント、120 オトーナメント、および東西対抗試合につきましては、天候不良のため、全試合あるいは一部試合が中止となったため、該当者はいらっしゃいませんでした。

H I 盃選手権試合と全三菱庭球大会について

H I 盃選手権試合の歴史は、1922年（大正11年）にまで遡ります。

この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦彌太様から三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、そのイニシャルを戴き、

「H. I. ロンドンカップ」と名付けられました。翌1923年（大正12年）、このH I 盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合（H I 盃選手権試合）が開催されました。



その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で87回を数えるに至っています。

これに先立ち、関東関西戦が1916年（大正5年）から開催されており、本大会は今年で102年目を迎えます。1952年（昭和27年）の復活第1回H I 盃選手権試合／東西対抗戦（戦争の為1943年（昭和18年）から中断）に際しては、新たに「100オトーナメント（45才以上ダブルス）」（以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」）が加えられました。1972年（昭和47年）には、岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。1983年（昭和58年）には、岩崎寛彌様よりカップが寄贈され、65才以上のペアによる「130オトーナメント」（2013年（平成25年）から「140オトーナメント」に変更）が設けられました。2006年（平成18年）には、三菱庭球同好会名で「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして2014年（平成26年）に、岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス」が設けられ、男女とも同じ種目の整備が完了しました。

これらのH I 盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が、「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ29社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。

H I 盃の表記について

H I 盃は、創設時の「H. I. ロンドンカップ」から「H. I. カップ」、「H. I. 盃」、「H I 杯」、「H I 盃」等、10周年、30周年記念誌や大会プログラムで様々に表記、呼称されて参りました。

そこで2001年の50周年記念誌では、H. I. は、岩崎彦彌太氏のイニシャル表記であるが、既に「エイチアイ」の呼称は広く浸透し、固有名詞化ともいえることからイニシャル表記のコンマを省略し、「H I 盃」で統一いたしました。

今般、ホームページの創設にあたっては、この50周年時の考え方をもとに改めて「H I 盃」で統一表記とし、今後は本表記を踏襲することにしました。

これを受け、本年から大会プログラムも同様の表記とすることがH I 盃委員会です承されました。

H I 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

I. 復活前

回数	年 度	開催地	委員長	HI盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神 戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東 京			2	記録なし
	1918 大正7	神 戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東 京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東 京	河手 捨二 (商事取締役)	岩永 侃爾 (門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神 戸	山口 泉吉 (重工神戸造船所長)	青木 岩雄 (東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本 辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山 正男 (名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東 京	荘田 達弥 (造船研究所長)	岩永 侃爾 (東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神 戸	徳大寺 則麿 (重工神戸造船所長)	青木 岩雄 (東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東 京	三好 重道 (製鉄取締役)	神田 道朝 (関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神 戸	山室 宗文 (銀行常務取締役)	青木 岩雄 (関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東 京	荘田 達弥 (造船研究所長)	牧野 元 (関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神 戸	徳大寺 則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元 (関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東 京	三好 重道 (製鉄取締役)	志村 彦七 (中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神 戸	田中 金之助 (倉庫取締役)	後藤 長 (中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間 亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長 (中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東 京	佐藤 梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長 (中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神 戸	玉井 喬介 (重工社長)	石井 小一郎 (関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			支那事変のため中止	22	
16	1938 昭和13	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村 彦七 (中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村 彦七 (中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野 文照 (関東・鋼材) <ダブルス>熊谷 一彌・関沢 房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑 (関西・電機) <ダブルス>田村 亮・扇山 忠男	27	記録なし

Ⅱ. 復活後

回数	年度	開催地	委員長	HI盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東京	石黒 俊夫 (本社精算人)	藤倉 五郎 (金商)	100才→	岩崎彦 彌太・ 山岸 成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神戸	藤井 深造 (新重工社長)	藤倉 五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉 普一 (電機社長)	藤倉 五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東京	石黒 俊夫 (地所社長)	藤倉 五郎 (金商)		西・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大阪	古村 誠一 (金属鉱業社長)	藤倉 五郎 (金商)		西・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東京	高垣 勝次郎 (商事社長)	藤倉 五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大阪	伊藤 保次郎 (鉱業社長)	寺岡 健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鉱業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東京	桜井 俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東京	柴田 周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大阪	浜川 友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東京	藤岡 信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東京	千頭 暎臣 (信託社長)	藤井 道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大阪	藤野 忠次郎 (商事社長)	藤井 道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東京	河野 文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東京	野村 義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (セメント・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東京	有吉 義彌 (郵船社長)	藤井 道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東京	牧田 与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13分
20	1971 昭和46	東京	田実 涉 (銀行会長)	大日方 昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東京	藤野 忠次郎 (商事社長)	藤井 道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東京	中田 乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東京	古賀 繁一 (重工会長)	宮川 善文 (大日)		雨天中止	小島・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東京	古賀 繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)		田中・寛 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東京	古賀 繁一 (重工会長)	有沢 三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東京	古賀 繁一 (重工相談役)	藤井 道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東京	古賀 繁一 (重工相談役)	藤井 道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東京	古賀 繁一 (重工相談役)	藤井 道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33
29	1980 昭和55	東京	古賀 繁一 (重工相談役)	小柳 健一 (商事)		吉岡・佐久間 (キヤ・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年 度	委員長	HI盃	140オトーナメント	120オトーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦	
30	1981 昭和56	古賀 繁一 (重工相談役)	小柳 健一 (商事)		櫛原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)		関東 49-33	
31	1982 昭和57	田部 文一郎 (商事会長)	武田 彰 (商事)	130才↓	中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 40-37, 5分	
32	1983 昭和58	田部 文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	安川・吉岡 (キタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 33-27, 22分	
33	1984 昭和59	田部 文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関東 47-34, 1分	
34	1985 昭和60	田部 文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)		関東 48-34	
35	1986 昭和61	田部 文一郎 (商事会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関西 46-38	
36	1987 昭和62	鈴木 永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 46-37	
37	1988 昭和63	鈴木 永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止						
38	1989 平成元	鈴木 永二 (化成会長)	岩原 慎二 (化成)	川崎・寛 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)		関東 45-39	
39	1990 平成2	鈴木 永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイヨン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)		関東 50-31, 3分	
40	1991 平成3	飯田 庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・櫛原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 28-21, 35分	
41	1992 平成4	飯田 庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 49-29, 6分	
42	1993 平成5	飯田 庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)		関東 52-32	
43	1994 平成6	飯田 庸太郎 (重工会長)	田村 太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイヨン)	前田・早川 (化学)		関東 38-28, 18分	
44	1995 平成7	飯田 庸太郎 (重工相談役)	杉本 長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)		雨天中止	
45	1996 平成8	飯田 庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)		関東 47-37	
46	1997 平成9	藤村 正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 (明生)		雨天中止	
47	1998 平成10	藤村 正哉 (マテリアル会長)	古村 賢紀 (電機)	川崎・櫛原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)		関東 52-32	
48	1999 平成11	藤村 正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 49-34, 1分	
49	2000 平成12	藤村 正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 42-41, 1分	
50	2001 平成13	藤村 正哉 (マテリアル相談役)	古村 賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 47-27	
51	2002 平成14	藤村 正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 41-31	
52	2003 平成15	藤村 正哉 (マテリアル相談役)	古村 賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 26-20	
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村 賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)		雨天中止	
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村 賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)		関東 28-23	
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村 賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9	
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田 信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レイヨン)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6	
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原 健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11	
58	2009 平成21	井手 明彦 (マテリアル社長)	藤田 瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12	
59	2010 平成22	井手 明彦 (マテリアル会長)	藤田 瑞飛 (生命)	近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12	
60	2011 平成23	井手 明彦 (マテリアル会長)	藤田 瑞飛 (生命)	高橋・金子 (硝子)	後藤・古屋 (電機)	古賀・松重 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関東 16-9	

回数	年 度	委員長	HI盃	女子 シングルス	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西対抗戦
6 1	2012 平成24	井手 明彦 (マテリアル会長)	藤田 瑞飛 (生命)		東・淀川 (重工)	伊 藤・矢 野 (化学)	五十嵐・鍋 谷 (生命)	星 村・狩 谷 (生命)	関西 13-12
6 2	2013 平成25	井手 明彦 (マテリアル会長)	福田 健司 (電機)		東・田 中 (重工)	赤 沼・本 間 (硝子)	五十嵐・鍋 谷 (生命)	廣 田・横 山 (電機)	関西 11-8
6 3	2014 平成26	井手 明彦 (マテリアル会長)	田川 翔太 (海上)	鍋谷 昌栄 (生命)	田 中・永 田 (重工)	近 藤・矢 野 (化学)	奥 間・ 関 (銀行)	神 谷・星 野 (キリン)	関西 11-8
6 4	2015 平成27	井手 明彦 (マテリアル相談役)	古田 陸人 (マテリアル)	木川 里奈 (生命)	織 田・藤 井 (商事・電機)	堀 田・多 屋 (海上)	松 田・泉 水 (生命)	駒 田・廣 田 (電機)	関東 12-11
6 5	2016 平成28	井手 明彦 (マテリアル相談役)	田川 翔太 (海上)	松本 千広 (生命)	江 口・近 藤 (化学)	本 間・半 田 (硝子)	松 田・泉 水 (生命)	上 村・尾 形 (生命)	関東 16-9
6 6	2017 平成29	大宮 英明 (重工会長)	田川 翔太 (海上)	松本 千広 (生命)	雨天中止	雨天中止	雨天中止	高 山・野 田 (生命)	雨天中止

注. 第30回大会以降の開催地はすべて東京